

● 推測の修正の指導法

- ① まず、解答用紙を配布し、設問に対する答えを「生徒、副主任の先生、主任の先生、その他」の中から推測し選ぶように指示した上で、オーディオ・スクリプトの①を読み上げ、選ばせます。読み上げる回数は、学習者の能力によって調整しますが、最高でも5回までとします*。
- ② 次に、オーディオ・スクリプトの②を読み上げ、再度、選ばせる。この時に①の解答と同じでも変更しても構わないと指導する。
- ③ 次に、オーディオ・スクリプトの③を読み上げ、再度、選ばせる。この時に②の解答と同じでも変更しても構わないと指導する。
- ④ 次に、オーディオ・スクリプトの④を読み上げ、再度、選ばせる。この時に③の解答と同じでも変更しても構わないと指導する。
- ⑤ 最後に、オーディオ・スクリプトの⑤を読み上げ、再度、選ばせる。この時に④の解答と同じでも変更しても構わないと指導する。

解答用紙-----

設問 What is John?

①生徒	副主任の先生	主任の先生	その他
②生徒	副主任の先生	主任の先生	その他
③生徒	副主任の先生	主任の先生	その他
④生徒	副主任の先生	主任の先生	その他
⑤生徒	副主任の先生	主任の先生	その他

オーディオ・スクリプト-----

- ① John was on his way to school.
- ② He was terribly worried about the mathematics lesson.
- ③ He thought he may not be able to control the class again today.
- ④ He thought it was unfair of the instructor to make him supervise the class for a second time.
- ⑤ After all, it was not a normal part of a junior's duties.

(Sanford & Garrod, 1981, p.10)

正解：副主任の先生

⇒ 間違っていた場合

□ ②までは「生徒」を選んでいても矛盾はありません。しかし③で、”control the class”という表現を根拠として「生徒」ではない、つまり、推測した内容がおかしいなと思ったら、すぐに考えを切り替える必要があることを指導する。

□学習者の能力によって、”supervise”や “junior” 、” duties”などの語句の品詞と意味を予め指導する。

* 聞く回数は5回までと指導します。これはシャドーイングの研究結果ですが、5回までは聞く回数に比例して統計学的に有意差 (= 科学的な効果) があるとの研究結果が報告されています (Hori, 2007)。